

講義名	研究演習		
講義コード	25032	授業形態	
担当教員	村尾 俊一		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
備考			

ゼミ
村尾ゼミ

学部
商学部 経済学部 人間社会学部

学科

演習名
広報・広告・マーケティングコミュニケーション論

概要説明

マーケティングコミュニケーション論を中心に、広報（PR）や、広告、イベント、プロモーションなどを専門とするゼミです。基本となる、方法論では、1）現状分析、2）要因分析、3）コミュニケーション目的、4）戦略・アイデア・メディア、5）結果の評価までを一連の方法論として学びます。基礎的な方法論の理解がすめば、具体的な課題をみつけ、課題の明確化、解決方法の作成、発表、全員での講評へとすすみます。グループワーク、毎回の各自の発表、論文賞への応募等希望者は高い目標にチャレンジできます。外部講師も招待予定です。

学位

教員よりの要望

毎回ごとに理解と議論を深めていくので、出席は重要です。課題には、積極的に取り組んでください。自分の口で、自分の意見を堂々と人前で述べられるようになることが目標です。

教員英字氏名

MURAO SHUNICHI

研究室

304研究室

最終学歴

横浜国立大学大学院経営学研究科修士（経営学修士）

主な研究活動・社会活動・研究業績

「広告クリエイティビティの特徴と現在の変化」『広告科学』62集（2016）
「戦略プランニングにおけるクリエイティブブリーフの国際比較」『広告科学』63集（2016）
「アカウントプランニングの起源を探る-アメリカにおける広告クリエイティブ戦略の発展史-（上中下）」『日経広告研究所報』288・289・290号（2017）
The United States and Japan Comparative Study on Creativity and the Effect of Account Planning, ICORIA2018（ヨーロッパ広告学会）

主な卒業論文のタイトル

「日本の経営の研究」（横浜国立大学大学院）（1979）

趣味・特技

趣味：芸術鑑賞（琳派、仏像、浮世絵、レンブラントなどの西洋絵画）
スポーツ観戦（サッカー、ラグビー、ゴルフ）
ゴルフ、旅行

所属

商学部 マーケティング学科

所属学会

ヨーロッパ広告学会
アメリカ広告学会
日本消費行動研究学会
日本広告学会、日本広報学会

専門分野

広告研究
クリエイティビティ（創造性）研究
アカウントプランニング（戦略プランニング）研究
マーケティングコミュニケーション研究

選考方法

申込書に氏名、専攻、志望動機を書き提出。そのうえで面接を実施。

担当科目

マーケティング論、マーケティングコミュニケーション論
広告論、デザイン論、流通科学入門、流通概論

備考

評価方法

出席、ゼミへの取り組み姿勢、熱心さ、課題への反応、発表。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。世界一のマーケティングコミュニケーション企業WPPの中核会社J.ウォルター・トンプソン社（現ワンダーマン・トンプソン）において30年以上営業部門とクリエイティブ部門の実務経験があります。広告、広報、戦略、クリエイティブ、イベント、プロモーション、デジタル等の実務経験を、ゼミに活用しています。